

横浜国立大学先端科学高等研究院

第19回 IAS-YNUセミナー

社会インフラストラクチャの安全研究ユニット



「臨海部コンビナートの 強靱化と課題」

日時:2月1日(木) 午後5時スタート

1 時間程度

場所:高等研究院棟 3階 307



濱田 政則(はまだ まさのり)

専門分野:構造工学、地震工学 略歴:昭和43年東京大学工学研究科修士課程修了、工学博士。大成建設株式会社、東海大学海洋学部教授を経て、平成6年早稲田大学理工学部土木工学科教授、平成26年早稲田大学名誉教授。元日本学術会議会員、元(公益社団法人)土木学会会長。現在アジア防災センター センター長

概要: 2011 年東日本大震災など多くの既往地震により、臨海部のコンビナート施設が甚大な被害を受けてきた。被害の直接的な要因は、軟弱な埋立地盤により増幅された地震動、砂質地盤の液状化、長周期地震によるタンク火災および津波である。臨海部コンビナートの被災が国民生活や、経済活動に与える影響は極めて重大であり、将来の地震・津波に対して施設・構造物の耐震性と耐津波性の向上が喫緊の国家的課題となっている。

このため、経済産業省資源エネルギー庁は平成 26 年より、「石油コンビナート強靱化事業」を開始し、毎年約 160 億円の公的資金を投入し、石油精製施設の強靱化を行ってきている。本事業によって災害発生時の石油の安全供給を図る計画であるが、臨海部コンビナート施設の強靱化の推進には、国、自治体、関連事業所、地域住民間の情報共有や協力体制構築に解決を要する多くの課題が残されている。

ご出席いただける方は、下の事務局までにメールか電話でお知らせいただければ幸いです。

セミナーのあと、IAS の 3 階で場所を変えて簡単な懇親会を行いますので、ご出席ください

【問合先】 藤野 陽三: ias-infra@ynu.ac.jp 電話: 045-339-4468

横浜国立大学 先端科学高等研究院 〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5

